

ERE information

Vol.34 2018年9月13日発行

発行／特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者／勅使河原 豊
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3番21号／電話(03)3267-4819／http://www.ere.or.jp/

Contents

- ▶第34回経済学検定試験：EREマイクロ・マクロの応募者数 過去最多！
——『ERE』の平均点は41.6点低下、『EREマイクロ・マクロ』は例年並み——
- ▶第29回EREマイクロ・マクロ「大学対抗戦」：創価大学「経済学理論同好会」チームが第18回以来の優勝！
- ▶「大学対抗戦」優勝チームを表彰
 - ・ERE試験を、一致団結して学問に挑む糧として！（優勝チーム 米本圭吾さん）
 - ・次回の優勝に向け、研鑽を！（準優勝チーム 小杉啓太さん）
 - ・深く包括的に理解する学習が実を結び！（個人賞トップ 南優人さん）
- ▶委託会場制度利用のご案内
- ▶就活のエントリーシートにEREの成績を明示
- ▶第35回ERE実施要領
- ▶第30回EREマイクロ・マクロ「大学対抗戦」参加チーム募集！

《第34回経済学検定試験》

EREマイクロ・マクロの応募者数 過去最多！

『ERE』の平均点は41.6点低下、『EREマイクロ・マクロ』は例年並み

2018年7月1日(日)に実施いたしました第34回ERE、EREマイクロ・マクロの成績結果がまとまりました。受験者およびおとりまとめご担当者の皆さまへの試験に関するご通知とご報告は、すべての手続等を完了しております。

今回のEREとEREマイクロ・マクロの合計応募者数は1,694名で、前回試験(2017年12月実施)の合計応募者数(1,603名)を91名上回り、またEREマイクロ・マクロの応募者数は、1,629名で過去最多となりました。特に応募者が多かったのは、明海大学の328名で、大学の応募者数として初めて300名を超えました。次いで、初参加の追手門学院大学の297名でした。

成績概要は《資料1・2》のとおりです。

EREの平均点は、前回は41.6点下回る41.0点となりましたが、EREマイクロ・マクロの平均点は、ほぼ例年並みの207.7点となりました。

《資料1-1》科目別成績『ERE』

科目	マイクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点
平均点	121.5点	120.8点	47.9点	39.2点	43.6点	37.9点
(前回)	138.8点	128.4点	47.1点	47.6点	41.5点	49.3点
標準偏差	40.98点	42.63点	18.28点	21.17点	16.87点	19.77点
(前回)	50.10点	51.78点	19.63点	20.94点	21.02点	20.96点

《資料1-2》

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学
配点	250点	250点
平均点	106.4点	101.3点
(前回)	111.2点	101.6点
標準偏差	49.78点	45.97点
(前回)	49.97点	48.73点

《資料2》

成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	65名	1,629名
受験者数	39名	1,306名
平均点	411.0点	207.7点
標準偏差	126.14点	89.37点
最高得点	780点	480点
最低得点	220点	60点

《資料3》団体応募状況

□ ERE/EREミクロ・マクロ					
1	明海大学	328	16	宇都宮大学	11
2	追手門学院大学	297	16	旭川大学	11
3	麗澤大学	59	16	九州産業大学	11
4	日本大学	49	19	立正大学	10
5	龍谷大学	39	19	広島修道大学	10
6	専修大学	34	21	立命館大学	9
7	武蔵野大学	24	22	青山学院大学	8
8	大阪産業大学	21	23	名古屋学院大学	7
8	岡山商科大学	21	23	福岡カレッジ・オブ・ビジネス	7
10	福島大学	19	25	東京大学大学院	5
11	創価大学	18	25	拓殖大学	5
12	関東学院大学	15	27	弘前大学	3
13	長崎大学	14	27	明治大学	3
13	高崎経済大学	14	29	熊本学園大学	1
15	国際教育交流基金	12			
				個人	629

※団体別応募者の人数は、「団体受験申込者数」＋「大学対抗戦受験申込者数」です。

《資料4》『ERE』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1	日本生命保険相互会社	財務審査部	篠原 哲	S
2			濱田 卓	A+
3			清水 邦敏	A+
4			賀数 弘一	A+
5	前川公認会計士事務所	所長	前川 克博	A
6	関西学院大学大学院	法学研究科	前田 剛正	A
7			—————	B+
8			小早川 大輔	B+
9			森山 匠	B+
9			河原 正明	B+

《資料5》『EREミクロ・マクロ』上位成績者

順位	大学・勤務先名	所属	氏名(敬称略)	ランク
1			張 百卉	S
2			ZHAO XINYI	S
2			ZHOU JIAQI	S

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名 (敬称略)	ランク
4			鄭 嘉 偉	S
4			YANG CHUNHSIANG	S
4			李 テ イ	S
4			L I U Y U X I N	S
4			ZHANG QINGWEI	S
9			JIANG YUXUAN	S
9			李 想	S
9	創価大学	経済学部	南 優 人	S
9			萩 原 直 斗	S
9	明海大学	経済学部	島 本 昌 和	S
9			李 煥	S
15			S U N Y U B O	S
15			CAI YUHONGLI	S
15			小 池 堂 夫	S
15			N I H A I F E N G	S
19			高 悦	S
19			S U N H A N Y U	S
19			Y E Y O N G M I N G	S
19			馮 子 竹	S
19			王 逸 為	S
19			劉 泓 志	S
19			C A I N I	S
19			ZHAO HONGYE	S
19	創価大学	経済学部	大 槻 正 義	S
28			趙 歆	S
28			M A J I A L I	S
28			D O N G Y U X I N	S
28			D U H A N E R	S
28			胡 捷	S
28			Wang HaoHua	S
28			FENG QIANCHENG	S
28			王 可 心	S
28			Zhang Jingyi	S
28	岡山商科大学	経済学部	劉 宇 航	S
28	岡山商科大学	経済学部	程 華 泉	S
39			L I N N I N G	S
39			陳 冠 達	S
39			李 心 怡	S
39			R E N J I N G	S
39			L I U X I N Y U	S
39			雷 露 晨	S
39			唐 宏 儀	S
39			YANG XUANYING	S
39	創価大学	経済学部	江 本 航夢偉	S
39			劉 欣 然	S
39			徐 英 奎	S

《第29回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」》

創価大学「経済学理論同好会」チームが第18回以来の優勝！

準優勝は東京大学大学院「経済学愛好会」チーム／個人賞トップは南優人さん

第29回 E R E ミクロ・マクロ「大学対抗戦」は、9校18チーム、計121名で競われました。

優勝は、創価大学「経済学理論同好会」チームでした。1,610点を獲得して、第18回（2012年12月2日実施）以来の12回目の優勝となりました。準優勝は、1,510点を獲得した東京大学大学院の「経済学愛好会」チームです。第3位には、1,510点を獲得した創価大学の「47期 経済学理論同好会」チームが入りました。

「大学対抗戦」個人成績のトップは、450点を得点した創価大学「経済学理論同好会」チームの南 優人さんです。なお、個人賞は370点以上13名の方が獲得しています。

優勝・準優勝チーム、個人賞受賞者の皆さんには、日本経済学教育協会ならびに協賛団体より副賞が授与されます。

参加チーム上位4名までの平均点は270.7点で、前回は11.46点上回りました。

順位	チーム名	学校名	総合得点	平均点
優勝	経済学理論同好会	創価大学	1,610点	402.5点
準優勝	経済学愛好会	東京大学大学院	1,510点	377.5点
第3位	47期 経済学理論同好会	創価大学	1,510点	377.5点

※参加メンバーの上位4名の総合成績です。上位4位までの総合点が同点の場合は、チーム全員の平均点で判定します。

《「大学対抗戦」優勝チームを表彰》

6年ぶりに優勝の創価大学「経済学理論同好会」を西村会長が表彰！



去る9月3日（月）、優勝した創価大学「経済学理論同好会」チームを会長・試験委員長である西村和雄先生が表彰いたしました（写真）。創価大学「経済学理論同好会」は、47年の伝統あるサークルで、現在、30余名の部員が学内のセミナールーム（自習室）を利用しながら切磋琢磨して学習を行っています。

過去、第8回（2007年12月2日実施）から第18回（2012年12月2日実施）まで11連覇を達成した実績があり、今回6年ぶりに大学対抗戦での栄冠を獲得いたしました。今後も「大学対抗戦」に挑戦していただき、チームの連覇を期待したいところです。



優勝校の代表を表彰する西村会長（写真上）と「経済学理論同好会」チームのメンバー（写真下）

■大学対抗戦 優勝・準優勝チーム、個人賞トップのコメント■

☆優勝 創価大学「経済学理論同好会」

ERE試験を、一致団結して学問に挑む糧として！

この度は、第29回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」において優勝を果たすことができ、我々「経済学理論同好会」一同、大変嬉しく思っております。

当会は、学問探求を志す学生で構成されており、部員同士が学問で切磋琢磨する団体です。そのような我々にとって、EREは一致団結して学問に挑むことができる最適な試験でした。

今回は、過去のERE11連覇から約6年ぶりの優勝を狙っていたこともあり、特に熱の入った勉強会になりました。主な勉強法としては、過去の問題を各自で解き、勉強会でお互いにレクチャーをし合う方法です。そうすることで理解度や責任感がより一層高まり、チーム全体のモチベーションを保つことができました。また、後輩達が3位入賞を果たし、ここからまた新たな連覇につなげてくれることを願っております。

これからも、EREなどの検定試験や大会などを通して、当会をさらに活気づけていきたいと思っております。今回はこのような機会をいただきありがとうございました。

(創価大学 経済学理論同好会 米本圭吾さん)

☆準優勝 東京大学大学院「経済学愛好会」

次回の優勝に向け、研鑽を！

第29回EREミクロ・マクロ「大学対抗戦」において準優勝という成績を残すことができ、メンバー一同大変嬉しく思っております。しかしながら、それと同時に、前回の対抗戦で優勝できなかった悔しさを活かしたチーム作りと準備を重ねてきましたが、準優勝という今回の結果に我々自身の努力の至らなさ、および知識不足を痛感しております。

我々は、経済学検定試験を経済理論の知識の確認と演習、ならびに公務員試験対策も兼ねた教材として活用しております。学習方法は、基本的に各人の自主性に委ねていますが、初学者を含んだ数人規模で、過去問の演習とその解説という形をとっています。

前回、そして今回と2回連続の準優勝という結果を受けて、「経済学愛好会」として、今一度反省と次回の大学対抗戦での優勝に向け、日々の研究活動、学習活動の中で入念な準備を重ね、研鑽を積みみたいと考えております。

(東京大学大学院 公共政策学教育部 経済学愛好会 小杉啓太さん)

☆個人賞トップ

深く包括的に理解する学習が実を結び！

団体優勝のみならず、個人賞でのトップも獲得させていただき、大変感激しております。この夏以降、メンバーのほとんどが海外留学の予定でしたので、今回がこのチームでEREミクロ・マクロ「大学対抗戦」を受験する最後のチャンスでした。その大会で、悔いなく最高の結果を残すことができ、本当に良かったと思います。

私がこのような成績を残すことができたのは私だけの力ではなく、メンバーの支えや家族、友人、教授など周囲の助けがあったからです。支えてくださったすべての方々に、感謝の思いで一杯です。

私がERE試験を勉強する上で特に気をつけたのは、一つ一つを深く包括的に理解することです。例えば、過去の問題で間違えた箇所を復習するときは、ただその問題を解けるようにするだけではなく、間違えた分野の理論や背景まで復習し、あらゆる問題への対応力をつけました。これからもこのEREで学んだことを糧に、日々精進していきたいと思っております。

(創価大学 経済学理論同好会 南優人さん)

▶委託会場制度利用のご案内

現在、全国に12の本会場を設け、「E R E（経済学検定試験）」を実施しておりますが、該当県外に住む受験希望者からみて会場が遠方にあることにより、「希望者がいても、なかなか受験に直結することができない」との声があります。最近では「交通費をかけて県外の受験会場へ足を運ばせるのも学生の大きな負担となるため、委託会場としての実施を検討したい」というお話を頂戴する機会が増えてまいりました。

受験申込者を取りまとめ一括でお申込をいただく場合は「団体受験申込制度」があり、以下の条件を満たせば、委託会場として受験者が所属する学校や会社内に受験会場を設けることができます。すでに20団体を超える大学に登録・実施をいただいております、少しずつ全国に広がりを見せている制度です。どうぞご利用ください。

●委託会場とは

委託会場とは、試験会場の設置および実施・運営のための規程等を遵守することを条件に、団体が申請した施設等を協会が試験会場として認めたものをいいます。

●委託会場設置条件とは

委託会場設置のためには、下記の条件を満たす必要があります。

- ① 協会が定めた試験実施日時を厳正に遵守すること。
- ② 受験申込者数が2種目（E R E／E R Eミクロ・マクロ）の合計で10名以上であること。
- ③ 試験当日の会場責任者として、試験申込責任者もしくはそれに準ずる者を選任すること。
- ④ その他、協会で定める規程等を厳正に遵守すること。

●試験実施までの流れ

〈試験前に行っていただくこと〉

- ① 到着資材の確認
- ② 試験問題等重要資材の保管

〈試験当日〉

運営方法を記した『試験実施規定』にもとづき、厳正に試験を監督・実施。

〈試験終了後〉

遅滞のないよう答案等試験資材を検定試験運営センター宛に返送。

本会場受験者と同じの手続きにより採点し、成績結果を通知します。

●実施手数料のお支払い

委託会場としての登録・設置を事前にいただき、当日の試験運営を行っていただく場合は、団体取りまとめ手数料10%に加え、委託実施手数料として受験料の15%（合計で25%）をお支払いします。お支払方法は、受験料より差引入金していただくことで行います（申込者が10名に満たない場合は、手数料のお支払いはありませんが、委託会場として実施をいただくことはできません）。

委託会場制度をご利用いただく場合は、事前にご連絡ください。団体申込用F D願書のご請求時に所定の用紙「委託会場設置届出書」をお送りします。詳細につきましては、検定試験運営センターまでお問合せください。

■検定試験運営センター■

〒162-8464 東京都新宿区市谷本村町3-21

Tel：03-3267-4821 Fax：03-3267-4999 e-mail：info@ere.or.jp

就活のエントリーシートにEREの成績を明示

ERE（経済学検定試験）は、Economics Record Examinationの略称で、大学で学ぶ経済学の理解度を評価する検定試験として、2002年3月より年2回実施いたしております。最近、学部学生が就職活動にあたり、エントリーシートにその成績を明示し自己アピールの一手段として利用する機会が増えていきます。そのため、採用ご担当者の皆様に本試験の概要につきましてご理解いただきたく、ご案内を申し上げます。

■特徴

本試験の結果は合否ではなく、SランクからDランクまでの7ランクで評価され、かつ、受験回数に制限がないことにより、何回でも受験が可能です。そのため、本検定試験を経済学に対する学習成果の検証とし、多くの大学生等が利用しております。

また、大学対抗戦においては、参加者自らが自主的にチームを結成し成績を競うことにより、大学の枠を越えお互いに経済学を理解しあう場として利用されています。

■出題科目等

〔ERE〕四択択一式・90問・180分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問／財政学：10問／金融論：10問／
国際経済：10問／統計学：10問 計90問・900点満点

〔EREMикро・マクロ〕四択択一式・50問・100分

ミクロ経済学：25問／マクロ経済学：25問 計50問・500点満点

■活用例

- ・専門課程の単位認定試験として
- ・大学におけるカリキュラムの効果測定として
- ・経済学系大学院入学の専門科目の代用として
- ・就職活動における経済学に対する理解度の証明として
- ・自己啓発等の成果の検証として
- ・公務員試験の準備として

■備考

現在、ERE（経済学検定試験）は、7月・12月の年2回、全国12の試験会場において実施しており、年間約3,000名の方々が受験しています。その主な受験層は約8割が国公立・私立の大学生・大学院生で、約2割が官公庁・民間企業、その他の受験者となっています。

《資料請求・お問合せ先》

特定非営利活動法人 日本経済学教育協会 事務局
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町3-21
TEL：03-3267-4819／e-mail:info@ere.or.jp

— 経済学の学習到達度を測定 —
2018年度 第35回 E R E 実施要領

『E R E』（6科目）

実施回	第 35 回
試験日	2018年12月2日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分（180分）
受付期間	2018年9月19日（水）～2018年10月19日（金）〈消印有効〉
受験料	5,400円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学／財政学／金融論／国際経済／統計学
出題形式	4答択一式／90問，1問10点，900点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

『E R E ミクロ・マクロ』（2科目）

実施回	第 35 回
試験日	2018年12月2日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時40分（100分）
受付期間	2018年9月19日（水）～2018年10月19日（金）〈消印有効〉
受験料	3,240円（税込）
出題科目	ミクロ経済学／マクロ経済学（注）
出題形式	4答択一式／50問，1問10点／500点満点
持込品	受験票、筆記用具（HB程度の鉛筆またはシャープペンシル〈ボールペンは不可〉、消しゴム）、電卓（ただし、金融計算電卓、関数・メモ機能付きは不可）、顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。

第30回 E R E ミクロ・マクロ 「大学対抗戦」 参加チーム募集！

●2018年12月2日(日)実施 ●受付期間：2018年9月19日(水)～10月19日(金) 〈消印有効〉

●前回まで参加した54校（50音順）

青山学院大学／跡見学園女子大学／宇都宮大学／大阪大学／大阪経済大学／
大阪産業大学／大阪商業大学／大阪府立大学／小樽商科大学／鹿児島大学／金沢大学／
九州大学／京都大学／熊本学園大学／熊本壺溪塾学園／群馬大学／慶應義塾大学／
埼玉大学／札幌大学／上智大学／成蹊大学／専修大学／創価大学／高崎経済大学／
拓殖大学／中央大学／筑波大学（同大学院）／帝塚山大学／東京大学（同大学院）／
東京理科大学／同志社大学／東北大学／東洋大学／長崎県立大学／名古屋大学／
名古屋市立大学／名古屋学院大学／名古屋経済大学／新潟大学／日本大学／一橋大学／
兵庫県立大学／福岡カレッジ・オブ・ビジネス／福島大学／北海道大学／
北海道教育大学／武蔵大学／武蔵野大学／明治大学／山形大学／立命館大学／
琉球大学／和光大学／早稲田大学